

様式第3号(第9条関係)

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和7(2025)年度第3回みよし市教育振興基本計画推進委員会		
開催日時	令和8(2026)年2月17日(火) 午後2時から午後3時45分まで		
開催場所	みよし市役所3階 研修室1・2・3		
出席者	<p>委員長：大村 恵 委員：渡辺さくら 大地由美子 岡本信一郎 江上 俊郎 山田 郁子 小嶋 宏美 鈴木みゆき 高橋小夜子 富樫佐智子 鈴木 睦子 鈴木 康之 平山 啓子 清水 素子</p> <p>事務局：増岡教育長 富田教育部長 竹山教育部参事 岡田教育部次長兼学校教育課長 鈴木教育部副参事兼学校教育課主幹 林スポーツ推進監兼スポーツ課長 林学校給食センター所長 橋本生涯学習推進課長兼中央図書館長 塚本歴史民俗資料館長 廣川学校教育課主幹 黒田学校教育課主幹 小野学校教育課副主幹 山口学校教育課副主幹 山内学校教育課地域連携担当 (計28名)</p>		
次回開催予定日	令和8(2026)年6月		
問合せ先	みよし市教育委員会学校教育課 電話：0561-32-8026 ファックス：0561-34-4379 メール：gakko@city.aichi-miyoshi.lg.jp		
下欄に掲載するもの	<ul style="list-style-type: none"> ・議事録全文 ・議事録要約 	要約した理由	
審議経過			
鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹	<p>本日は、ご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。私は、本日の進行役を務めさせていただきます、教育部副参事兼学校教育課の鈴木と申します。よろしくお願いたします。会を始める前に、お願いがあります。</p> <p>本日の会議は、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱の規定により、公開とさせていただいておりますのでよろしくお願いたします。</p> <p>また、会議録作成支援システムを使って行わせていただく関係上、発言される際は、マイクを使っていただきますようお願いいたします。</p> <p>定刻になりましたので、ただ今から「第3回 みよし市教育振興基本計画推進委員会」を始めさせていただきます。</p>		

	<p>初めに礼の交換をします。みなさま御起立ください。</p> <p>一同 礼 ありがとうございました。御着席ください。</p> <p>なお、本日、三好高校校長 鈴木政之様 文化財保護委員 鈴木睦子様 保育園父母の会会長 伊藤亜美様 から欠席の連絡をいただいております。</p>
鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹 教育長	<p>それでは、主催者を代表して教育長より挨拶を申し上げます。</p> <p>教育長 挨拶</p>
鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹 大村委員長	<p>それでは、早速議事に入ります。ここからは、みよし市教育振興基本計画推進委員会設置要綱により、委員長の 大村先生に進行をお願いいたします。</p> <p>大村委員長 挨拶</p>
大村委員長	<p>それでは、はじめに事務局より、資料1「20の作戦Plus Oneの進捗状況」について説明していただき、続けて、資料2「体系別全施策の10年間の取組状況」の説明をしていただきます。お願いします。</p>
廣川学校教育課主幹	<p>失礼いたします。</p> <p>みよし市教育委員会学校教育課指導主事の廣川幸平です。よろしく申し上げます。</p> <p>現計画は、今年度が10年間の最終年度となるため、はじめに、「20の作戦Plus One」の進捗状況と、「体系別全施策」の10年間の取り組み状況について、ご報告いたします。</p> <p>まず、「作戦Plus One」についてです。『「みんなで育てるみよしっ子」、いわゆる「共育・協育」の周知について、今年度は、中学校の学校説明会のときに、小学校6年生及び保護者へ「共育・協育」について説明し、保護者の協力をお願いしました。新計画でも、みよしの教育理念として「共育・協育」を掲げています。取組には位置付けませんが、常に周知に努めていきたいと思っております。</p> <p>作戦①について、令和5年度から子育て総合支援センターの運営を民間事業者へ委託し、魅力ある講座の創設や相談を受ける体制の充実を目指してきました。今年度は、ニーズに対応した企画として、男性向けの子育て講座を立案し、子育てアプリ「みよびよ」により周知を図りました。新計画では、「安心して子育てできる環境整備」を基本施策に位置付け、相談支援体制の構築に限らず、保育環境の整備、子育て家庭への財政的支援の充実、ファミリー・サポート・センターでの市民の相互扶助（そうごふじょ）の推進、児童虐待の防止のための家庭支援など、子育て支援の充実を図ってまいります。</p> <p>作戦②について、成果指標は、放課後児童クラブの利用児童数となっており、人数は増加していますが、目標は、利用児童数を増やすことではなく、待機児童をなくすることが大切であると考えています。来年度、放課後児童クラブを増設する予定の学校はありますが、他の学校で待機児童が発生する可能性があります。次期計画では、「放課後のこどもの居場所づくり」を重</p>

点施策として位置付けることで、放課後児童クラブに限らず、民間児童クラブ、放課後こども教室、児童館・集会所など地区施設への支援や機能の充実を図っていきます。

作戦③について、親子ガイドブックの配布について、HP、きずなネット等、ICTを活用した情報発信の方法を検討しました。新計画では、「家庭教育に関する学習機会の充実」を重点施策として位置付け、幼児期の保護者の学習機会の充実、民間団体の行う学習会への協力を新たな取組として加えるとともに、これまでの取組もより効果的にリニューアルを図ります。

作戦④について、アンケートは実施していないものの、「学びの森」での相談については、よく周知されたため、相談希望が増えています。相談員の時間数を十分確保しているため、関係者、学校、関係機関と連携して支援を行うことができました。新計画では、「0～18歳まで一貫して支援できる体制の構築」を重点施策として位置付けることで、就学前、及び中学校卒業後の支援の手薄さを見直し、0～18歳における様々な課題の解決を目指します。

作戦⑤について、成果指標の「話し合う活動を通じて、自分の考えを深め、広げている」と実感する児童生徒の割合は、目標値に達していないものの、高い水準を保つことができました。教員研修の内容を精選し、教員が積極的に参加できるようにしてきた成果だと考えます。新計画では、「学ぶ楽しさを実感し生きる力を育む『みよしの授業』づくりを支援」を重点施策に位置付け、こどもが主体となる授業の実現を目指します。

作戦⑥-1について、成果指標の「授業にICTを活用して指導できる教員の割合」については、目標の80%に少し届かない数値となりました。今年度、黒笹小学校の研究発表では、ICT機器を活用した授業について提案され、授業を参観した教員は、具体的な活用の仕方について学ぶことができました。

作戦⑥-2は、成果指標の「授業での活用」状況が、77%となり、目標に届かなかったものの、着実に数値を伸ばすことができました。中部小学校のフューチャークラスルームをはじめ、環境を整備していったことで、教員の活用意欲向上につながったと考えています。新計画では、作戦⑥-1と合わせ、「ICTを活用した個別最適・協働的な学びを推進する環境の充実」を重点施策に位置付け、主体的・対話的で深い学びにおける個別最適な学びと協働的な学びの実現を目指します。

作戦⑦について、成果指標の「学校が英語の授業で「ALTを積極的に活用した」と回答した割合」は、中学校で大きく数値が向上しました。今年度からALTを派遣する業者が変わったことが、よい方向に働いたと考えています。新計画では、「外国語、理科、体育、情報教育の充実」の施策に、「ネイティブの英語に触れる英語科の授業」「みよしイングリッシュキャンプの実施」の取組を位置付け、ALTの有効的な活用を視点とした研修や研究、異文化体験活動を行っていきます。

作戦⑧について、成果指標の「人の役に立つ人間になりたい」と思う児童生徒の割合は、目標値に達していないものの、肯定群で見るとかなり高い数値を維持しています。これは、道徳教育を推進してきたことも要因の1つかもしれませんが、児童生徒が主役の学校教育が進められていることが大きいと考えま

す。新計画では、「自他を大切にし、周囲と共に高め合う「みよし思いやり教育」の推進」を重点施策に位置付けることで、みよしっ子が自分のよさや他者の思いやりに気づき、夢や希望の実現に向かって自分を磨き続けられるような心の教育を実施していきます。

作戦⑨について、成果指標の「全国体力・運動能力調査の体力テストの合計点の(全国との比較)」はまだ調査中ではあるものの、今年度も全国に比べて低くなる見込みで、なかなか改善できていません。そのため、新計画では、「こどもの体力向上の推進」の施策の取組として、「いいじんスポーツチャレンジinみよし」の拡充、「小学生スポーツ大会」の開催、「体力向上のためのドリル」の開発等を位置付け、児童生徒の体力向上を目指します。

作戦⑩について、成果指標の「個別の指導計画の活用状況」は、引き続き、100%となっており、数値から変化は見られないものの、外国にルーツのある児童生徒に「どうようびきょうしつ」を開催したり、小中学校に校内フリースクール対応教員を配置し、不登校対策を行ったりし、成果を収めてきました。新計画では、「包摂性を重視した学校教育の充実」として、特別な支援を必要とする児童生徒や外国にルーツのある児童生徒の「活躍の場の創出」、「幼少期からの一貫した支援と関係機関の連携強化」に努めていきます。

作戦⑪について、小学校の実態に応じて、教科担任制の教科数に違いがあるものの、全小学校で進められています。新計画では、重点施策「居心地のよい環境づくり」の取組に、「こどもの学力を伸ばす多様な学習形態の工夫」を位置付け、教科担任制からさらに先へ進めて、2学級3教室の授業や1学級複数教室の授業など、多様な指導が可能な指導体制の実現に向け、小学校の学年担任加配の試験的導入を検証していきます。

作戦⑫について、現在南中学校で大規模改修を行っていますが、他の学校も順次進めていき、安心・安全・快適な学校環境をつくっていきます。また、防犯カメラの設置も3月中に完了します。新計画では、重点施策としないものの、「安全・安心の学校づくり」として、「大規模改修による学校施設の整備と安全な教育環境づくり」「防犯・防災・安全教育の充実と体制整備」「現代的な健康課題への対応」を施策に位置付け、児童生徒の安全・安心を確保していきます。

作戦⑬について、現時点で、全小中学校のコミュニティ・スクール化が完了し、各学校において学校運営協議会を開催しております。新計画では、次のステップとして、「学校運営協議会を核とした学校の課題解決の促進」を重点施策に位置付け、学校が抱える様々な課題を、家庭、地域、学校が丸となって解決していけるようにします。

作戦⑭について、今年度より新たに開館したみなよし交流センターでも生涯学習講座を行ったこともあり、成果指標の目標値より多くの市民が生涯学習の講座に参加しました。新計画では、「図書館学習交流プラザ「サンライブ」をはじめ、おかよし交流センターやみなよし交流センターでも講座を開講し、市民がより自宅近くで気軽に受講できるよう利便性の向上や、多様なニーズに応えていきます。

作戦⑮について、成果指標の「生涯学習活動を行っている団体の数」は、減少しており、目標を達成することはできていませんが、団体数を増やすことを目指さず、協力していただいている団体への支援を充実させることに重きを置いてきました。新計画では、「地域や自主的サークルの活動支援」として、「文化・芸術、スポーツ団体への支援」「専門家、指導者、支援者の発掘と人材育成」「活躍する個人・団体の応援」を施策に位置付け、支援や応援をしていきます。

作戦⑯について、成果指標「総合型地域スポーツクラブで活動した人の数」は、目標を達成しなかったものの、コロナ禍で大きく減少してから、かなり盛り返すことができています。また、指標とは関係ありませんが、中学校の部活動地域展開における持続可能な体制づくりに向け、総合型地域スポーツクラブとの連携の在り方について検討を重ねております。新計画では、『するスポーツ』『観るスポーツ』活動の場づくり」として、「市内スポーツイベントの活性化」を重点施策に位置付け、市民がスポーツを楽しんだり関心をもてたりする機会を増やしていきます。

作戦⑰について、灰釉陶器（かいゆうとうき）づくり体験を行う小学校数は毎年増えており、それにともない、みよし市の歴史について触れるこどもの数も増やすことができています。新計画では、「市内の文化財保護と有効活用」として、「みよしの歴史資産を活用したイベントの充実」の取組を位置付け、資料館の展示、文化財を活用したイベントを開催するとともに、近隣市町と連携した取組によって、みよしの魅力を市内外に発信します。

作戦⑱について、成果指標「本を読むことが好き」な児童生徒・市民の割合は、減少傾向にあるため、本に興味をもてるように映画上映会を実施したり、本を身近に感じられるように学校で電子図書を利用できるようにしたりしました。新計画では、「市民の期待に応える中央図書館・サンネット図書コーナー等の充実」を重点施策に位置付け、読書の楽しさを学ぶ場である中央図書館やサンネット図書コーナーに足を運びたいくなる取組を入れることで、読書活動の推進を図っていきます。

作戦⑲について、成果指標「みよしのことが好きである」児童生徒の割合は、常に高い水準を保ち、令和6年度のアンケート調査では、目標を達成しました。これは、市の出張講座を活用したり、市の職員をゲストティーチャーとして招いたりすることで、市の理解を深め、興味を高めてきた成果だと考えます。新計画では、「みよしを好きになる学びの場の創出」として、「郷土の歴史や自然にふれる機会の創出」「郷土のスポーツ、文化・芸術各分野の第一人者の活用」「スポーツ、文化・芸術による交流活動の推進」を施策として位置付け、みよしを好きになり、市民としての誇りや喜びを感じられるようにしていきます。

作戦⑳について、作戦⑱でお伝えしたように、全小中学校で地域コーディネーターの配置は完了し、地域コーディネーターを対象とした研修も行いました。新計画では、「地域学校協働本部の体制強化と活動周知のための取組の充実」を重点施策に位置付け、学校と家庭、地域が一体となった教育の実現を目指したいと思います。

	<p>続いて、「体系別全施策」の10年間の取組状況について、資料2をご覧ください。一つ一つの取組について、行動目標が達成できたものについては、黄色で記しています。また、未達成または、途中で内容を変更したものは、緑で記しています。最後に、途中で事業中止、または、途中削除したものは、赤で記しています。また、10年間の取組状況と評価については、達成の場合は、達成と評価できる理由を明記、未達成または、変更の場合は、その理由について明記、事業中止または途中削除の場合もその理由を明記しております。位置付けられた多くの取組において、目標を達成することができました。一つ一つの達成状況の報告については、割愛させていただきます。</p> <p>そこで、ここからは、先ほど報告させていただきました「20の作戦Plus One」をはじめ、現教育振興基本計画の進捗状況について、皆様方のそれぞれの立場から、ご質問やご意見を伺いたいと思います。どのようなことでも結構ですので、よろしくをお願いします。以上となります。</p>
大村委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、資料1と2の「20の作戦Plus One」の進捗状況と「体系別全施策」の10年間の取組状況についてのご質問、ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>
清水委員	<p>特別な支援を必要とする児童生徒や外国にルーツのある児童生徒の活躍の場などがありますが、こどもだけではなく、保護者に対する支援や指導というような機会も大切であると思いました。</p> <p>文化の違い、考えや習慣の違いで、その必要性をそこまで感じていない人がいたり、こどもたちが日本で生きていくために、しっかり読み書きができて、話すこともできないと困ってしまうということをしっかり分かっていない人がいたりするので、こどもだけではなく、親にもアドバイスや指導する機会をもったほうが、結果的によい影響があるのではないかと思います。</p>
大村委員長	<p>これは、次年度以降の目標としてということでしょうか。それか、これまでの10年の取組においてということでしょうか。</p>
清水委員	<p>次年度以降で、親のことがふれられていなかったのが、必要であると思いました。</p>
大村委員長	<p>保護者へのケア、あるいは学習について大事だったのではないかとありますが、まずはこの10年の取組として、その点はどうだったのかということについて説明をお願いしたいです。</p>
鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹	<p>学校教育課鈴木です。今おっしゃられたところで、特にこちらについてはこどもの部分がメインだったと思いますが、外国にルーツのあるこどもが健やかに日本で育っていくため、適応を促していくということを考えていくと、子育ての支援の中の1つとしても、そういった外国にルーツのある方も含めて、視野を広げてい</p>

	<p>く、そこにも目を向けてサポートする必要があると考えております。学校現場でもそういったことを進めているところもあり、市としてもできることについては今後検討していく必要があると考えております。以上です。</p> <p>この10年間の取組ということで、先週、大地委員の旦那さんも手伝ってもらったのですが、外国籍の未就学のこどもたちとその保護者を集めて、「みよしっこひろば」を年間15回開催するなかで、こどもに学校での学び方を体験してもらうことをしながら、保護者に一緒に来てもらって、日本の学校のことや、日本の文化のことについてお話を、それぞれの言語で説明させてもらうという取組をこの10年間続けてきて、参加をしていただいた方には、十分理解をしてもらえるようになったと感じています。これは未就学の子への対応であって、10歳の子が来たとき行きは、個別の対応をさせていただいています。</p> <p>初期指導教室が終わったこどもたちに対しても、学習言語を学ぶ場「どようびきょうしつ」をはじめたり、さらには、きずなメールが多言語に対応するようになり、以前に比べると学校の情報が入るようになったりしたことが、保護者支援の10年間の成果だと思っています。</p>
<p>教育長</p>	
<p>大村委員長</p>	<p>清水委員、よろしかったでしょうか。</p>
<p>清水委員</p>	<p>はい。</p>
<p>山田委員</p>	<p>教頭代表の山田です。これまでの「20の作戦Plus One」と、次期教育振興基本計画のことについて、国の動向が書かれている7ページに、どのような人材を育成するのかが書かれていて、県の動向として、どのような力を、どのように高めるかが書かれています。それを受けて、みよし市として、どのような市民を育てていくのかという目的が見つけられなかったです。「20の作戦Plus One」も同じで、この取組で、どのような市民の育成を目指しているのかというのが、具体像みたいなものがあると、各課の方が、そこを目指すためにやると分かり、この活動が適切であるか評価できると思います。どこを目指しているのかが読み取れなくて、取組と成果というのは分かりますが、何のためにこの取組をやって、どこを目指してやっているのかが具体的になると、目指す人間像に合っているのかを視点に評価することができると思います。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。みよし市としての目指す人間像・こども像が分かりにくいのではないかとご指摘でした。これまでの取組のところではいかがでしょうか。</p>
<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>例えば、新計画においては、32ページの真ん中辺に、基本理念として、「ともに学び・育ち・つながり・創る 未来のみよし」があるのですが、その下の目指す人間像を目指して取り組んでいきます。具体的には、「生涯にわたって自らを磨き、みんなとともに、心豊かな人生、時代、みよしを創る人」となります。現計画では、先に重点施策を位置付けてあったのですが、</p>

<p>大村委員長</p> <p>山田委員</p> <p>大村委員長</p>	<p>新計画では、先に基本目標を掲げ、各々の基本目標が達成できるように、重点施策を位置付けたというよう、現計画の体系が分かりづらかったところを、変更しております。以上となります。</p> <p>山田委員 どうですか。</p> <p>自分が見つけられなかったため、目指すところが分からず、消化できていなかったところもありましたので、ありがとうございます。</p> <p>その他いかがでしょうか。 よろしいでしょうか。 新しい計画の議論にも少し繋がっていきますので、適宜また波動この10年間の取組に戻っていただいても結構ですが、次の協議のほうに入らせていただいてもよろしいでしょうか。</p>
<p>大村委員長</p> <p>廣川学校教育課主幹</p> <p>大村委員長</p>	<p>それでは、協議事項の方に入りたいと思います。(1)パブリックコメントのご意見に対する回答についてということです。事務局からお願いいたします。</p> <p>パブリックコメントのご意見に対する回答について、要項の4ページをご覧ください。パブリックコメントは、5人から11件のご意見がありました。それぞれのご意見に対する回答については、要項にある通りとなります。</p> <p>続いて、パブリックコメントのご意見を受けて、取組内容を修正したものについてお伝えします。要項の8ページまたは、スライドをご覧ください。1つ目は、中学校におけるALTの活用がなされていないというご意見についてです。この意見を受けて、ALTの活用方法についての研修や研究を市教育研究会英語部会と連携して行う旨を追加しました。</p> <p>2つ目のデジタル・シティズンシップについて、養護部会もかかわっていきたいという積極的なご意見に対し、市教育研究会学習情報部会との連携に、養護教諭部会を加えるとともに、その他、様々な部会で取り組む旨を追加しました。</p> <p>3つ目は、音楽分野での体験の場が不足しているというご意見に対し、みよし音楽祭や郷土芸能伝承活動発表会、みよし市文化祭等において、出場や出品の場づくりに加え、体験の場づくりについても明記しました。</p> <p>4つ目は、初期指導を終えた外国にルーツのある児童生徒が、学びの場での日本語ができなく困っているというご意見に対し、日本語指導員の専門性や指導力を向上させるための研修の実施の記述を追加しました。</p> <p>そこで、ただいまより、「パブリックコメントのご意見を受けての回答及び修正」に対するご質問やご意見について、委員の皆様より伺いたいと思います。どのようなことでも結構ですので、よろしくお願いたします。以上となります。</p> <p>以上となります。</p> <p>はい。ありがとうございました。 それではご質問ご意見をいただきたいと思います。いかがでしょうか。</p>

<p>大地委員</p>	<p>パブリックコメントについて、単純な質問をしたいのですが、コメントいただいた方は、ほぼ教員でしょうか。このことについて、分かりますでしょうか。</p>
<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>いいですか教員の方もいらっしゃれば、市民の方もいるっていうことで、ほぼ教員というわけではありません。</p>
<p>大地委員</p>	<p>パブリックコメントをいただくときに、すごく大量の資料があったときに、一般市民が、簡単にコメントできるかということ、たぶんなかなかできないということを感じています。</p> <p>この会の初めにもあったのですが、一般市民の方からの意見とか考え方とかをもらうときに、すごく大量の資料が出されて、どうですかと言われても、なかなかできないので、骨格となるシンプルなものを出して、どうでしょうかという聞き方もあるのかなっていうことを、これを読んで思いました。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>パブリックコメントを求めるときの方策についてのご意見ということですね。</p> <p>市民からのご意見をいただくときに、パブリックコメントを出す、募集するだけではなくて、説明会を開いているところとか、あとワークショップを開催しているところもあります。</p> <p>特に子どもたちの意見を聞くには、ワークショップを開かないと、なかなか引き出すことができなかつたりするので、みよし市として、そういった市民の声をどう引き出すか、汲み上げるかという工夫をされているのかについては、少しまたご検討いただきたいです。今後の改善への意見として承っておきたいと思います。</p> <p>その他、いかがでしょうか。</p> <p>私から1つ、パブリックコメント4ページの2つ目の集会所や児童館が土日祝日に開館していくとうれしいというご意見で、私としては非常に評価するといいますか、大事なご意見だと思ったのです。それは、土日祝日の遊び場ということでもありますが、特に気候変動の中で夏場の外遊びとか、あるいは体を動かしての遊びが非常に難しい状況の中で、児童館は、貴重な場所になるはずだと思います。</p> <p>ただ、この回答としては、検討するということにとどまっていて、修正点としても出てきていませんが、これについてはどのようにお考えならられたのか少しお聞きしたいのですがいかがでしょうか。お願いいたします。</p>
<p>教育長</p>	<p>これは、実は、みよし市が、3年前から方向転換というか、向こう30年、40年の地区施設の再配置計画の見直しをきちんとして、予算を確保していこうということがあって、集会所、児童館や公民館等々の機能を集めていこうという計画を3年間で今立てている最中です。この教育振興基本計画は今から10年間のねらいになっているので、ここに書かれている、85ページの基本施策2の(2)のところに書いたように、既存の施設について活用できるようにしていきましょうということで、この取組をつくっていますので、検討していくにとどまっているのでは</p>

	<p>なく、既存施設は活用していきます。</p> <p>ただし、機能の集積を行っていく本市の動きに合わせて、そこをどのように活用していくかは、やはり検討の余地があると思うので、そういう意味で検討しますと書かれています。みよし市の児童館というと、旧来の地区には大変たくさんあります。逆に、人口の半分を抱える北部の新しい地区には、児童館はなくて、集会所があるということで、公民館も同じです。そういう地域差があるので、その辺りをどのように今後もっていくのかという計画を立てているところなので、こちらに詳しく述べるができなかったというのが正直なところですので、ご承知おきください。</p> <p>以上です。</p>
大村委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そうすると、この市の考え方が、読み取れるかどうかということがありますので、地域施設の検討を、現在、市全体でしているということを入れていただくと、わかりやすいかと思えます。</p>
	<p>その他いかがでしょうか。</p> <p>また、私からで申し訳ありませんが、7番目のご意見で、不登校への対応のところですが、学びの多様化学校をつくってはどうかというご提案がありますが、愛知県としては、この4月にようやくスタートします。日進高校と日進高校附属中学校が、学びの多様化学校としてスタートしました。それは、公立の学校としては初めてなのです。ですから、みよし市として学びの多様化学校を設置するということになると、相当尖ったご意見ということになるとは思いますが、これについての言及がないので、これもどのように考えているのかということを入れていただいてもよかったと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
廣川学校教育課主幹	<p>この書き方が、学びの多様化学校を設置してほしいのか、それとも、それぐらいの勢いをもった政策をしてほしいという意味合いなのかが、少し読み取りづらさがありました。しかし、学びの多様化学校だけではなく、不登校の児童生徒に対するセンターといったものを、教室以外にも充実を図っていくという意味合いを、やんわりと伝えたいということでこのような書き方をさせていただいています。それだけでなく、学校における対応も十分に図っていくっていったところも併せて伝えていけたらと思い、このように書かせていただいております。</p>
教育長	<p>書いた人がわかっているので、本人にはお伝えしたのですが、この日進の学びの多様化学校のようなものを、みよし市が単独で設置するということが、当然なかなか難しい話なのですが、日進高校の教室をつくるために、自分と日進市の教育長と豊田市の教育長で強く県に申し出て、みよしの子ども通える場所ということで、日進高校を何とかそういう学校にできないかということで進めてきて、この4月に実現いたします。6万人のまちですので、市単独で、何十万人いる市町のもっているものすべてを、6万人のみよし市がもつということは難しい話であります。それから、県レベルでやることを、みよし市が単独でや</p>

	<p>ることも、難しい話ではありますが、今後も、周りと手を取り合ってというか、みよし市のこどものためにできることは精一杯やっていくということ、ここの皆さんに知っていただき、もしそのような話が出たら、応援してもらえるように声かけていただけるとうれしいです。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>今お話があったように、日進高校、それからその附属中学校は尾張の学校になるのですが、みよし市と豊田市のこどもは、そこに進学ができる扱いとなっていて、そういった意味で、みよし市もその設立にご協力されたのだと思います。学校として、学びの多様化学校にしていくのは、なかなか大変なのですが、例えば、ここにあるような校内教育支援センターも、運用によってまったく中身が違うものになってきて、学びの多様化学校的な運用も可能となります。実際、岡崎市や名古屋市は、こどもが自分でカリキュラムを組んでいくことを支えていくような取組をしていますので、そういった意味では、どのような校内教育支援センターにしていくのかが少し見えてくると、こうしたご意見へのお答えになっていくという気がしますし、また、教育長のお話にあったような日進高校や日進の附属中学校の設立にも関わってきたということも書いていただけると、非常にわかりやすいと言いますか、そうした方向をしっかりと意識して作成しているということが分かってもらえると思いました。</p> <p>その他いかがよろしいでしょうか。</p> <p>お願いいたします。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>同じ場所のところで、7番目の回答の真ん中辺りに、不登校を生まない学校づくりの実現を目指しますと書いてあるのですが、実際に、55ページのところには、様々なこどもの状況に合わせた居場所づくりに取り組んでいきますと受け取ることができるため、不登校を生まない学校づくりの表現ではないとほうが、実情に合っているという気がしました。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>不登校ということについては、文科省も、その見方を変えてきていて、学級や学校への復帰を目的とはせず、社会的な自立を目的として、教育を保障していこうとっていますので、そういった意味では、不登校を生まないという言い方をしてしまうと、今、不登校傾向のあるこどもや保護者を傷つける可能性があるというふうに、確かに思います。これについて、事務局のほうとしては何かございますか。</p>
<p>鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹</p>	<p>先ほどおっしゃられたご意見は、最もだと思いましたので、回答のほうは、今いただいた部分も持ち帰って、検討していきたいと思います。よろしく申し上げます。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>その他はいかがでしょう。</p> <p>それではまたお気づきの点があれば、後からでもご発言いただいて結構ですので、お願いします。</p> <p>それでは協議事項1は、とりあえずここで終了しまして、協</p>

<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>議事項2のほうに移りたいと思います。来年度以降の教育プランの実行に向けてです。では事務局からお願いいたします。</p> <p>要項9ページをご覧ください。来年度以降の教育プランの実行についてとなります。令和8年度から新計画を開始し、推進委員会は、6月と2月の年2回の実施を計画しております。6月にその年度の計画について、2月にその年度の計画に対する成果についてが、主な内容となります。また、5年後に中間見直しを予定しているため、令和12年度の1年間は、推進委員会を1回増やして、見直し案の協議を行います。さらに、10年後の第3期教育振興基本計画策定に向け、令和16年度、17年度の2年間は、推進委員会の回数を増やしていきます。教育に関する市民アンケートについては、令和9年度から隔年の2年に1回行っていきます。</p> <p>そこで、来年度以降の教育プランの実行について、委員の皆様からご質問やご意見を伺いたいと思います。また、これが協議の最後となりますので、新計画について、誤字脱字を含めて、どのような些細なことでも、気付かれたことがあれば伝えていただきたいと思います。よろしく申し上げます。以上となります。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ですから新計画へのご意見・ご質問も含めて、来年度以降の進め方についてもご意見をいただきたいということでよろしいですか。</p> <p>それでは、どこからでも結構ですので、お気づきの点があれば、お願いしたいと思います。</p>
<p>清水委員</p>	<p>新しい計画の57ページの地域学校協働活動のところで、学校支援ボランティア制度の拡充とありますが、学校を支援してくれるボランティアさんが集まって実際に支援してくださっているときに、学校が求めている活動をしてくださっているかを、しっかりチェックしたほうがよいと思っています。ちらっと聞いた話で、家庭科のミシンのボランティアで来てくださっている方が、つい手を出しすぎて、こどもがやるべきところを、ボランティアさんが仕上げているようで、先生としてはこどもがしっかりと自分でできるようになるように支援してほしいのに、仕上げればよいと目的が変わって支援してくださっていると、求めているものと違ってきます。あとは、部活動の指導をしていく場合は、勝つことに重きを置いてしまって、こどもを育てるといえるか、その過程が大事だといえるところが置き去りになってしまうなど、きっといろんな方がみえて、そういうことが起こりうると思うので、現状の把握をしっかりと、目的をしっかりと伝えるということがとても大事だと思います。統括コーディネーターの方が、それをチェックするのかもしれないですが、それを本当に大事にしないと、本末転倒の結果になってしまうのではないかと思います。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>学校支援ボランティアの活動内容のチェック、そのための教</p>

<p>鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹</p>	<p>育というものが必要ではないかということなのですが、これについて、事務局としてはいかがでしょうか。</p> <p>ボランティアの方にたくさん入っていただいてありがたいところですが、さき程おっしゃられたように、何のために来ていただいているか、どういうことをお願いするかというところを、共通理解のもとで進めていかないと、せっかくの行為がすれ違いになったり、こどもにとって、プラスにならない部分も出てきたりすると思います。これについては、これまでも各学校で意識はしていると思います。しかし、それをコーディネーターさんにチェックしていただくという形になると、コーディネーターさんへの負荷が大きくなる場所もありますので、基本的な方向性として、例えば、地域学校協働本部の窓口になるのが教頭先生とかになると思いますので、窓口の方とコーディネーターの方が基本的な土台になる部分を共有して、実際に授業ボランティアで来ていただくときに、コーディネーターさんから伝えていただいたり、或いは授業を担当する先生からお願いしていったりなど、ボランティアの方にいろんな形で具体的に明確にしていくことは、学校現場の先生方もやらなくてはならないことだと思えます。</p> <p>そういうことをやったところで、いろんな方が関わっており、すべてうまくいくわけではないと思います。そこは、進めていく中で、うまくいっているか、最初の計画と違ってないかについて、しっかり振り返りをし、次につなげていくといったことを、学校と地域学校協働本部の方で連携しながら進めていくことが大切であると考えております。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>すでに実際にやられているかもしれませんが、学校支援ボランティアの方への研修というのは、文言的には入ってないですかね。たぶん、統括コーディネーターの方の内容として、地域コーディネーターや学校への研修の中に、ボランティアの方への研修も入っていたのではないかと思いますので、少し補充できるのであれば、少し手直ししていただくとよいかもしれません。清水委員、それでよろしいですか。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>その他いかがでしょう。</p>
<p>江上委員</p>	<p>黒笹小の江上です。</p> <p>まず、言葉が少し違うと思いますところが、75ページのイの海外との文化交流の3つ目の取り組みのところ。コロンバス姉妹校との作品交流教のところが誤字だと思いますので、訂正をお願いします。これが1つです。</p> <p>それから、今後取り組まなければならないことと思ってずっと読んでいて、80ページの重点施策15の下にあるウの学校や園での保護者による教育保育体験の場の創出ということで、2つ目に保護者の学校教育への参画方法の検討ということが入っていて、そこに1日教員体験っていうような言葉は仮称なので、まだ今後だと思いますが、これまでこの言葉を見た覚えがないと言いますか、私が見落としていたら申し訳ないですが、具体的</p>

	<p>にどのようなことを保護者の方にさせていただくといいのかなというように、少し自分の中でイメージがつかなかったですので、今、何か事務局として考えていることがありましたら教えていただけたらと思います。</p>
大村委員長	<p>はい。ありがとうございます。 75ページのところは、たぶん誤字ということでよろしいと思います。80ページの1日教員体験について、少しご説明お願いできますでしょうか。</p>
教育長	<p>お願いします。 1つ目ですが、保育園のパパママ参加行事の開催ということが書いてあるのですが、実は、みよし市内の保育園で、今年から1日保育体験というのを始めてもらいましたよね。</p>
小嶋委員	<p>はい。</p>
教育長	<p>これについては、こども未来部の方に、こんなことがやれるといいなあと伝えたら、試しにということで、今年度始めてくださったようで。そうすることで、保育士さんたちと保護者の皆さんとの関係がよくなり、それから、おうちの方たちが園で過ごすこどもたちへの理解を深めてもらうことが、やってみたらすごくよいということで、広げていく方向だと聞いております。それに類することを、小学校の1年生2年生の初めてこどもを入学させる保護者の方は、とても不安を感じていらっしゃると思うので、そういうことにつなげていけないかということで、検討を進めますという書き方をされていて、今から話が出てくるところです。以上です。</p>
大村委員長	<p>はい。ありがとうございました。よろしいですか。 教員体験というと誤解しやすいので、学校体験なら入っていきやすいのではないかと思います。文言についてももしご検討いただけたら。 よろしく願いいたします。 その他いかがでしょう。</p>
清水委員	<p>教育委員の清水です。81ページのところの幼稚園等の教育振興大会への協力のところの内容で、各園の保護者間のつながりの強化と書いてありますが、これは、ここの幼稚園とここの幼稚園の保護者が交流するという意味なのか。園内の保護者同士が交流するという意味なのか。何回か教育委員で出たのと、自分のこどもが幼稚園のときに参加したのですが、他の園の保護者との交流という感じではなかったもので、どちらの意味であるのかなと感じました。</p>
大村委員長	<p>はい。 ありがとうございます。 ご説明できますでしょうか。 お願いいたします。</p>

<p>教育長</p>	<p>担当課がないので、自分が言っているのはだめですが、幼稚園さんの教育振興大会は、毎年、とても素晴らしい会をやっていただいているのですが、今後、やり方を変えていきたいというお話が出ています。それに対して、別の園に通う保護者同士の情報交換の場にもなっていくといいなという思いで、ここには掲げさせていただいています。ただ、清水さんのお子さんが幼稚園だったときはわからないのですが、各園の取組が発表され、交流されているようなときもあったので、どんな形がよいかを考えると、できれば園の保護者同士のつながりができるような場として、この教育振興大会が進められるといいなという思いを込めていますが、あくまで教育委員会が主催するものでもないで、そんなことを呼びかけていくにとどまるかもしれませんが、そういうつもりだと思います。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 表記の仕方では何かご提案があればお願いします。</p>
<p>清水委員</p>	<p>過去の保護者が、違う園と違う園の保護者同士の交流を目的にしているとしたら、実際あんまりそうではないというふうに、参加した人が思ってしまうかなと思いましたので。内容をもっと考えていけばよいのかもしれませんが、現状を考えると、園の保護者のつながり強化だと思ってしまいましたので、この内容とこの表記がよくわからなくお聞きしました。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい。ありがとうございます。 園と園の交流というふうに誤解が生じるかもしれないという意味ですか。</p>
<p>清水委員</p>	<p>はい。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>その点で見直しをして、それができるようにしていこうということであれば、このままでもいいということですかね。ありがとうございます。 その他いかがでしょうか。</p>
<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>すいません。 脱字レベルだとここで伝えにくいと思いますので、会議が終わった後に、個別で誤字脱字等あれば、私のほうにおっしゃっていただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>はい。 どうもありがとうございます。 協議の必要がない、そういった修正については、事務局のほうにお寄せくださいということですね。ありがとうございます。</p>
<p>大地委員</p>	<p>102ページから注釈一覧というのがあって、新しい言葉とか、みよし市独自の言葉とか、注釈でこうやってきちんとやってくださっていて、よいと思うのですが、本文を読んだときに、これは注釈のある言葉なのかがわかるとよいと思います。なので、注釈があるところに小さいマークを付けたらいいかと、注釈</p>

	<p>があることに気付き、後ろ見て言葉の意味がわかるという形になると思います。印とかをつけることは、難しいかよくわかりませんが、付けられたら付けるとよいと思いました。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>アスタリスクや、番号まであったほうがよいかわかりませんが、本文中に出てきた言葉に注釈がある場合には、何か補足がわかるようにしてほしいということですね。</p> <p>よろしいでしょうか。事務局としては、たぶんワードの機能であれば簡単に付けられると思います。</p> <p>他はいかがでしょう。</p>
<p>山田委員</p>	<p>教頭会代表の山田です。先ほど、目標のことを教えていただいたのですが、これからこの計画を学校として実現していくときに、こういうことを目指していくということを、キーワードみたいな一言で短い言葉で言っていただけると、いろいろな場面でその言葉が使いやすくなると思います。たぶん、このあと概要版を出していただけるとと思いますが、そういうところで実際に子どもを指導している担任の先生にも浸透しやすいような使いやすい言葉でこの目標を一言であるといいです。思いはすごく詰まっていて、言葉が多く、日常の教育課程の中で使うのは難しいと思うので、何かそういう使いやすい言葉でまとめたいただけると、これを意識して教育活動を進めていけると思いました。以上です。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>先ほど少し、ご回答があった32ページ、33ページの辺りを子どもにもわかる短い言葉やキーワードなど、この計画を活用していくところで、何かいい言葉があるとよいということですね。またこれもご検討いただけたらと思います。</p> <p>その他いかがでしょう。</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、もし、先ほどありましたが、後で気が付いたことなどがあれば、事務局のほうにお寄せいただきたいと思います。それで、今日が今年度は最後になりますので、委員としてご参加いただいて、ご感想、或いはその要望等を、一言ずついただけたらと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>座っている順番でよろしいでしょうか。</p> <p>それでは、窓側のはいところがよろしいでしょうか。</p> <p>平山委員さんお願いします。</p>
	<p>平山委員</p> <p>図書館協議会の平山と申します。1年間参加させていただいたのですが、市のほうでこんなにもいろいろな立場の人に寄り添って、赤ちゃんのブックスタートから始まって、老人、或いは障がいをもたれている方とか、外国籍の方まで、いろんな立場の方々のことを考えてやっていたら、それがすごくよくわかって、いつもすごいなと思って、私自身がとても学ばせていただく場となりました。ありがとうございました。</p> <p>人生を豊かにしていくということで、やはり本を読むということは、非常に人生を豊かにしていくものだと思うのですが、その土台をつくるのは、やはり幼少期、或いは小中学校、高校</p>

<p>清水委員</p>	<p>という子ども時代に本が好きになるということはすごく大事な ことだと思っています。</p> <p>学校図書館が、やはり子どもたちにとっては一番身近で、一 番大切なところだと思っています。ここが活気ある場となるた めには、よい本があり、よい司書の方がいて、子どもたちがす ごく行きたくなる場になってくれるといいなと願っています。</p> <p>ぜひ中央図書館の司書の方とも協力して、活気ある学校図書 館ができていくといいなと思っています。どうもありがとうござ いました。</p> <p>参加させていただいて、子どもが自己肯定感をもてるよう にとか、みよしが好きになるようにとか、人が好きになるよう にというようなことは、漠然とした思いというか、そういうのを しっかりとこの計画に織り込んで形にしていくことは、とても 難しいことであると思いました。いろんな部署に伝えて、その 実行をしっかりとっていくという形づくりをされていて、本当に 驚きましたというか、すごいなと思いました。</p> <p>さっきも少しチェック機能のことに対して言ったのですが、 コーディネーターの研修をすとか、そういう形はできている けれど、その中身がしっかりしたものかというのを、地域学校 協働活動のことだけでなく、いろんなところでしっかりと チェックできるようにしていくのが大切だなと思いました。</p> <p>私も、旭のプロムナードの辺でやっている外国人の子たちの 居場所づくりの寺子屋に少し参加させていただいて、その現 状を見てわかったこととか、自分の子育て中で、学校に子ども が行きたくないときがあったときにどう思うかとか、そういう 自分の体験から、思いが生まれることが多いので、これからも 推進委員として、自分の思いを計画にうまくのせていけるよう な推進をしていけたらいいと思います。 ありがとうございます。</p>
<p>鈴木康之委員</p>	<p>スポーツ推進委委員の鈴木と申します。短い間でありまし たが、いろんな勉強させていただいてありがとうございます。ス ポーツは、教育の中の本当の狭い範囲ではありますけど、スポ ーツ推進委員を26年、地域総合型のなかよしクラブを20年ぐ らいやっていますけど、やはりどうしても指導者が少ないとい うのと、それから、いろんな催しをやっても、なかなか人が 来るのか来ないのか、毎回近場になってみないとわからない という悩みがあります。皆さんにご相談をしてもわからない ことが増えているのですが、いろいろそういう点では悩みが多 くて困っております。長い間ありがとうございます。</p>
<p>富樫委員</p>	<p>富樫と申します。私も長い間本当に勉強させていただきました。 私は、文化芸術分野、文化協会の会長やっております、そ ちらのほうのことでいろいろ意見を言わせていただいたり、 いろいろ助言をいただいたりしました。私は、みよし市にお 嫁に来て、なんて田舎に来てしまったのだろうと思っていた のですが、今こうしてこの場におらしていただいた時点で、 すごくみよしはよいまちだと私自身が感じています。今この 立場を通して、文化協会を通したりとか、あと私は地域コー ディネーター</p>

	<p>をやっていますので、学校へ行ったりしたときにも、邪魔になるかもしれませんが、できるだけ子どもたちに声をかけたりして、みよしのよいところを伝えなければいけないし、こういう会議があることも、地域の方にもっと知っていただきたい。私は、一番よかったと思うのは、みよし教育プランの小さな冊子ができて、簡略されたこれが今まで何年かかけて作られたということが一番よかったかなと思います。パッと見てわかるという。活字は面倒くさいという人でも、これならパッと目にとっただけなので、私は、折に触れてやれるかどうかわかりませんが、広めていきたいと思います。本当にいろいろとありがとうございました。</p> <p>以上です。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>名古屋学芸大学の渡辺です。1年間ありがとうございました。今日のところで、私は不登校を生まないという言葉に反応したのですが、やはり不登校とか、障がい、外国にルーツがある、貧困があるというところの弱い立場の方の声がしっかり届く形になっていくとよいなというのを常に思っています。私は、立場としては大学の教員として出席をさせていただいているのですが、みよし市民です。子どもが保育園から高校まで、しっかりみよしでお世話になっています。私は、いろんな自治体の会議に出させていただいているのですが、とてもこれだけ手厚いこと、これだけ丁寧に子どもや、生活のことを考えている自治体はないのではないかと思っていますので、それをこれからも発信者として、何か発信できるといいなというふうに思っています。ありがとうございました。</p>
<p>鈴木みゆき委員</p>	<p>幼稚園父母の会代表の鈴木です。私も豊田市在住でして、子どもが4人おまして、4人ともみよし市内の幼稚園でお世話になっているのですが、この会議の委員になるまでは、みよし市がこんなにも手厚く、教育について考えていることを知らずに過ごしておりました。この10年をかけて、たくさんの方に周知されるようになって、</p> <p>あとは指標が達成されてきたということもすばらしいと思います。今度は、雨天時とか、天候に左右されることなく使える施設や、文化やスポーツの体験の場が増えてほしいと願っている方がたくさんいましたので、そういうのが、子育て中の保護者にも目に見える形で実現されていくといいなと願っています。3回の会議、どうもありがとうございました。勉強させていただきました。</p>
<p>小嶋委員</p>	<p>打越保育園の園長の小嶋と申します。今日はどうもありがとうございました。私も1年間の参加です。保育課の所属でもありますので保育関係は知っているのですが、市が子どもたちのためにこんなにもやっていると、学校教育課さんもこんなにもやってみえとか、他の課さんがこんなというは、知らなかったもので、とても勉強になりました。</p> <p>保育園は、子どもたちと保護者が初めて集団を経験する場合であると思います。先ほど言われたみたいに、外国人の方もそうですけれど、小学校に送り出すまでに、私たちのできること</p>

	<p>は何だろうというのを、とても考えさせられた会議でした。</p> <p>まだ明確な答えは見つからないのですが、今後これを市内公立園の園長にお話をさせていただいて、私たちができることは何だろうということを考えていきたいということを改めて思いました。どうもありがとうございました。</p>
<p>大地委員</p>	<p>社会教育委員の大地です。この会議に出させていただいて、10年後のことをあまり普段考えたことはないのですがすけども、10年後について考える機会をいただいて、こうやって計画するところに携わらせていただいて、大変よかったと思っています。私は元教員なので、去年の夏に、同窓会というか、クラス会に招いていただいて、小学校卒業してから40年たった50歳ぐらいの人たちと会をもったのですが、その中で、県内に住んでいる人、山形県と東京都に住んでいる人たちが、みよしって本当にいいですねということ言われたのです。すごく私うれしくなって、ここの会につながっていると思いました。どこがいいのかをもっと聞けばよかったと今は思っているのですが、みよしっていいなと思ってくれる人がいろんなところにいる、外に出て行く人たちもそうやって思ってもらえるというのは、やはりこういう丁寧な取組があつてのことかなと思っています。今日最初に教育長さんに言われたのですが、これからこれを推進していく人になりなさいというふうにおっしゃられて、そうだなとすごく思いました。推進していけるように、頑張りたいと思います。ありがとうございました。失礼します。</p>
<p>岡本委員</p>	<p>みよし市立北中学校の岡本信一郎です。みよしで育って、今があります。増岡教育長とは、小学校の同級生、中学校の同級生、高校の同級生、大学の同級生で、職場は違いましたが、同じ教員としてやっております。みよしの本当にすばらしい子どもたちのために頑張っていきたいと思っております。来年少し暇になりますし、たぶんこの活字を見ただけではわからないと思いますので、教育委員会にお許しをいただければ、北中学校にいつでも来てください。ここに名簿がある方は、いつでもうちの教頭が学校を案内しますので、いつでも来てください。以上です。</p>
<p>山田委員</p>	<p>たぶんこれが、これから10年の教科書になるのだなあということ考えながら、会に参加させていただきました。ただ、子どもたちと教科書だけでは勉強が進まないのと同じで、私も教員や子どもたちにどうやってこれを伝えていけばいいのかなというのを、これから考えていかなければいけないと、また1つ宿題ができたと感じています。またいろいろ教えていただけるとありがたいです。以上です。</p>
<p>高橋委員</p>	<p>小中学校PTA連絡協議会で、今回参加させていただいた高橋です。このようなお役目をいただくのも初めてで、正直なところ、この教育振興基本計画というの、この役員させていただいて初めて知ったような形で、すごく勉強不足のところから参加させていただき、本当に学ぶことばかりの1年でした。</p>

	<p>私はPTAということで保護者という立場で教育というのは、学校教育、家庭教育、社会教育、この3つが大きな柱になっていて、それに関わるすべてのことをみよし市として、ものすごく前向きに、いろんな方面から考えていただいているということで、自分自身も家庭教育のところで、改めてもっと考えていることと、あと自分の周りの保護者の方とも共有していくことをこれからも考え続けながら、自分にできることは何かなということを考えて行動することもやっていきたいと思いました。本当に勉強になりました1年間ありがとうございました。</p>
<p>江上委員</p>	<p>黒笹小学校校長の江上と申します。1年間お世話になりました。この会議に参加させていただいて、当事務局は取りまとめ本当に大変だったと思うのですが、私は基本目標の1の(1)の1、楽しい来くなる魅力ある学校づくりという言葉が先頭になったというのが、自分とてもうれしかったですし、それを今度実現していく立場なので、頑張っていきたいなというふうに思っています。富樫委員が、いろいろ入っていただいて、声をかけていただくということは、迷惑どころか子どもたちにとって、いろんな人と出会うというのが本当に価値あるものだと思っております。これで、学校運営協議会もすべて整って、今どんどん入っていただいております。先ほどの1日教師体験の名前は変わりますが、新しいことをしていくことが、子どもたちにとっても、我々にとっても、どんどん学びになっていくと思いますので、プラスに考えて、わくわくしながら、また頑張っていきたいと思っております。お世話になりました。ありがとうございました。</p>
<p>大村委員長</p>	<p>皆さん1年間ありがとうございました。新しい教育プランですが、10年は結構長いですね。これまでの10年を考えると、その10年前には予想もしなかったことが、いっぱい起きてきた。コロナ禍なんてことも、10年前はまったく想像もしませんでした。つい先日も、京都のほうで学会があって、そこで今、高校の2年生3年生の心理相談が、とても増えているという話がありました。やはり思春期の頃がコロナ禍であったということが、その子どもたちにとっては、自分がやりたかったけどやれなかったこととか、友達と触れ合うこともなかなかできなかったことが、非常に大きいのではないかという話をしてきました。</p> <p>おそらくコロナ禍をどういう時期に迎えていたのが、たぶんそのあとの育ちにかなり影響してくるという可能性があって、実は私のところも大学の1年生2年生がちょっと落ち着かないです。いろんな問題が少し起こってきたりしていて、リモート授業をやるようになって、それはいい面もあるのですが、今も一部リモートが行われていて、そうすると、大学に来たり来なかったりということで、大学の中で学生たちが触れ合う場が減ってしまったのではないかと危惧をしています。いろんな形で人と触れ合って、わかることやれることはいっぱいあるということを学生なりに経験して欲しいのですが、それをどう保証していくのかを私たちは考えるわけです。おそらくその学校のそれぞれの段階で、或いは子育て支援でも、コロナ禍の中で乳幼児の子育てをやっていた母親、父親もそうなのですが、今</p>

	<p>までとは少し違う子育てをしてきたのではないかと。人と相談したり、親仲間を作ったりということができなかった世代ですから、それをどう取り返していくというのも、この10年間の大きな課題というふうに思っています。</p> <p>ただ、何が起こるかわかりませんし、例えばこのプランの中にはAIという言葉が入ってきていませんが、もう今すごい勢いで広がってきています。それとどうつき合うかということも考えなくてはならない。今この10年間のプランを作られましたけど、それやっぱりみよし市のいいところは毎年検証していることです。それも当事者だけじゃなくて、市民の目で検証しているところがとても大事で、それをぜひ今後もやっていただいて、この教育プランをさらによいものにしていただきたいと思います。今日のお話を聞いてみました。1年間どうもありがとうございました。</p> <p>以上で今日の内容は終了したかと思います。進行事務局にお返しいたします。</p>
<p>鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹</p>	<p>大村先生どうもありがとうございました。 では、来年度の予定などについて事務局から説明をさせていただきます。</p>
<p>廣川学校教育課主幹</p>	<p>来年度の予定については、要綱の1ページの一番下に記してあります。第1回目は6月23日火曜日、2回目は2月16日火曜日を予定しております。もしかすると引き続きお願いをさせていただく方もいるかもしれません。よろしくお祈いします。1つ、先ほども申し上げた通り、誤字脱字等、細かいところの修正部分を、直接このあとと言っていたらと思います。よろしくお祈いいたします。以上です。</p>
<p>鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹</p> <p>教育長</p>	<p>最後に、教育長から推進委員の皆様にお礼の挨拶を申し上げます。</p> <p>教育長 挨拶</p>
<p>鈴木教育部副参事 兼学校教育課主幹</p>	<p>以上をもちまして第3回みよし市教育振興基本計画推進委員会を終了させていただきます。最後に例の交換を行います。ご起立お祈いします。</p> <p>一同礼</p> <p>ご着席ください。以上となります。 どうもありがとうございました。交通安全に気をつけてお帰りください。 本日はありがとうございました。</p>